

2023年4月期第1四半期

決算説明資料

2022.8.31

株式会社ラクーンホールディングス 東証プライム市場:3031





エグゼクティブサマリー

- 2023年4月期第1四半期は、国内では新型コロナウイルスの第7波が全国に急拡大したが、緊急事態宣言のような行動制限がなかった。これにより、経済活動が正常化に向かったことで、当社のサービスを利用する企業の経営環境は引き続き改善した。上記の結果、EC事業(YoY+10.4%)、フィナンシャル事業(YoY+15.2%)ともに2桁成長と順調なスタートとなった。
- 最盛期8.4%を占めていたEC事業のコロナ関連の特需商材(マスク・除菌グッズ)のGMVに由来した売上高は1.3%まで減少、一方で、特需商材を除外した売上高はYoY + 13.4%と力強く成長している。
- EC事業のスーパーデリバリーの国内は例年通りの季節的要因により客単価が減少したことで GMVはQoQ△3.7%。購入客数は順調な増加を継続していることに加え、コロナ関連の特需 商材(マスク・除菌グッズ) の影響が薄れたことで、YoYでは+14.1%とプラスに転換(昨年度Q1-YoY成長率△12.5%)
- EC事業のスーパーデリバリーの海外は、台湾の新型コロナウイルス感染者数の増加、中国のロックダウンの影響等を受けたアジア圏の成長率が一時的に低下。北米については送料高騰の影響を受けながらも、引き続き順調に成長している。



エグゼクティブサマリー

- フィナンシャル事業のPaidの取扱高は、季節的要因の影響をうけQoQ△0.04%と微減となったが、加盟企業数の順調な増加により、YoYでは+21.5%、売上高はYoY+22.4%と順調に成長している。
- フィナンシャル事業においては、事業成長の機会を逃さないために積極的に与信枠を出していることに加え、長期化するコロナ禍を背景に国内において倒産件数が増加しているが、当社においては与信コントロールがうまく機能している。この結果、当社の売上原価率に変化は見られず、引き続きコロナ以前より低い水準で推移している。
- EC事業の海外流通において、前期においては原油価格の高騰による国際配送料の高騰により 送料の当社負担が大きくなったが、送料の課金水準を見直した結果、販管費が抑制された。



((業績ハイライト

売上高、営業利益ともに二桁成長で順調なスタート

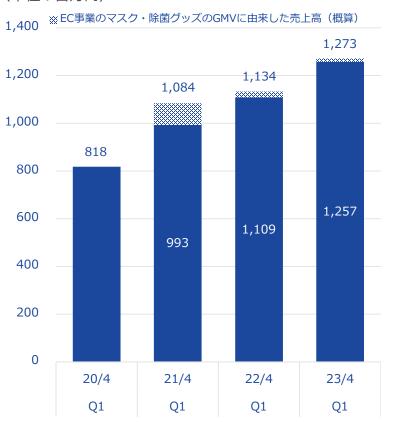
	2023年4月期 Q1	2022年4月期 Q1	前年同期比	業績予想
売上高	1,273	1,134	12.3%	5,500
営業利益	314	259	21.4%	1,300
営業利益率	24.7%	22.9%	1.9pt	23.6%
経常利益	312	257	21.4%	1,300
親会社株主に帰属する当期純利益	199	169	18.0%	810
EC事業売上高	770	697	10.4%	
EC事業セグメント利益	330	266	24.0%	
フィナンシャル事業売上高	503	436	15.2%	
フィナンシャル事業セグメント利益	133	116	14.6%	

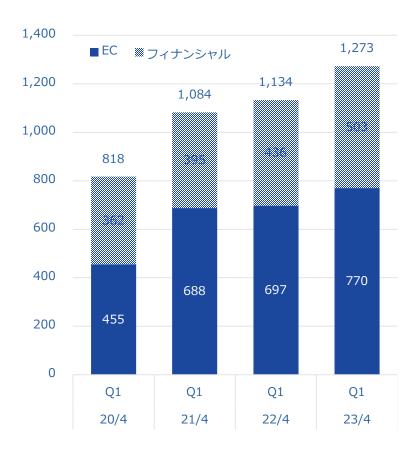


売上高分析

コロナ特需商材の影響はなくなったが、コロナをきっかけとした 成長率の向上が継続しており、EC、フィナンシャルともに増収

(単位:百万円)

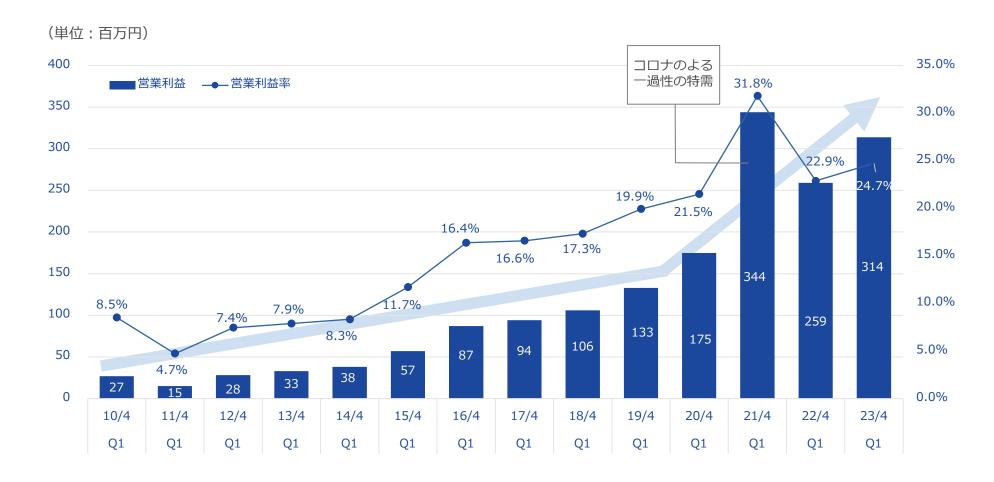






営業利益分析①

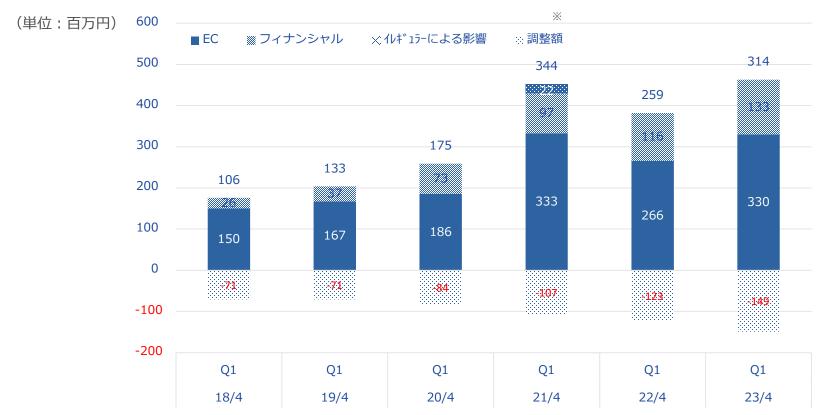
営業利益率は24.7%と前年同期比+1.9ptアップ





《《 営業利益分析②

エンジニアの積極採用による人件費増加で、本社コストである調整額が 増加したものの、各事業の増益が上回った結果、営業業利益はYoY + 21.4%

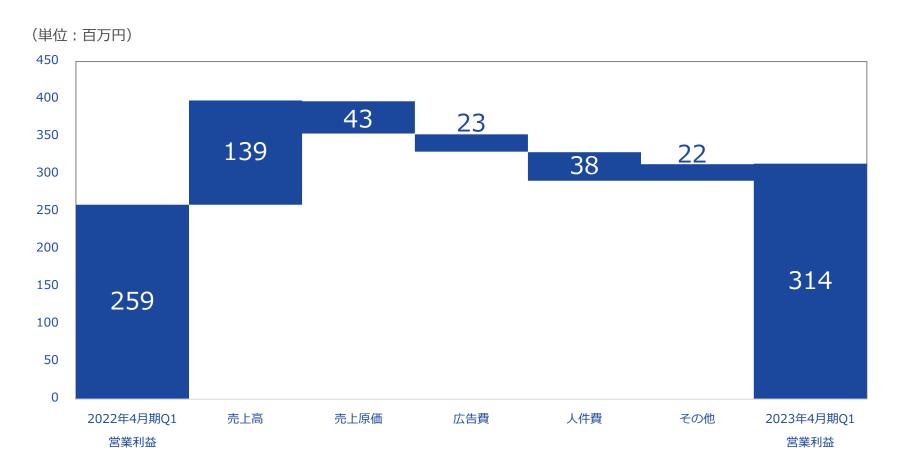


※2020年4月期Q4において新型コロナウイルス感染症が長期化する可能性に備え、合計で41百万円積み増した保証履行引当金・求償引当金・貸倒引当金を一部取り崩したことによるイレギュラー要因の利益



営業利益の変動要因(対前年同期比)

売上高の増加とその他経費の抑制効果も加わり、 営業利益は314百万円(YoY+21.4%)に





広告宣伝費、人件費が増加する中、その他経費はEC事業の 海外流通額に係る送料負担が改善されたことでYoY△12.3%





(単位:百万円)

	2023年4月期 Q1	2022年4月期	増減	前期末比		
流動資産	11,069	11,796	-727	93.8%		
固定資産	2,267	2,264	3	100.1%		
一有形固定資産	1,429	1,436	-7	99.5%		
一無形固定資産	352	336	16	104.9%		
ー投資その他の資産	485	490	-5	98.8%		
流動負債	7,163	7,629	-466	93.9%		
固定負債	1,054	1,066	-11	98.9%		
純資産	5,118	5,364	-245	95.4%		
総資産	13,336	14,060	-724	94.9%		







EC事業 2023年4月期第1四半期サマリー

		前年同期比
セグメント売上高	770 百万円	+ 10.4%
セグメント利益	330 百万円	+ 24.0%
		前年同期比
国内流通額	4,183 百万円	前年同期比 + 14.1%
国内流通額海外流通額	4,183 百万円 1,577 百万円	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100

売上面

- 国内は新型コロナウイルスの第7波が全国に急拡大したが、 緊急事態宣言のような行動制限がなく、経済活動の正常化に 向かったことで、購入者数は増加し、流通額も前年同期比 14.1%と二桁成長となった。
- 海外は、依然として送料の高騰、海外情勢の悪化などのマイ ナス要素と、円安によるプラスの要素の綱引き状態が継続中、 購入者数、客単価ともにQoQで増加し、流通額は前年同期比 +12.2%となった。

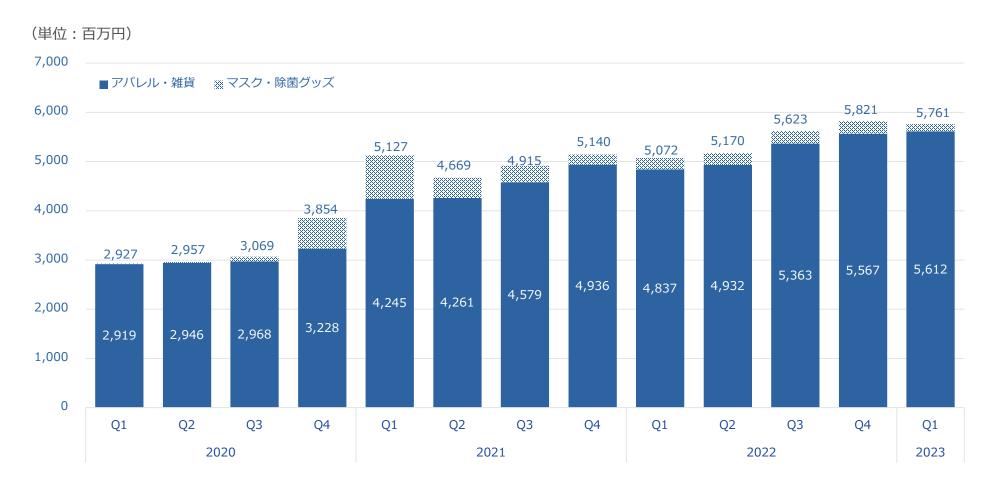
費用面

● 広告宣伝費は前年同期比+15.8%、人件費は前年同期比 +15.6%、その他経費は海外流通額に係る送料負担が改善され たことで前年同期比△38.0%とセグメント利益の増加に貢献。



(参考) スーパーデリバリー流通額推移①

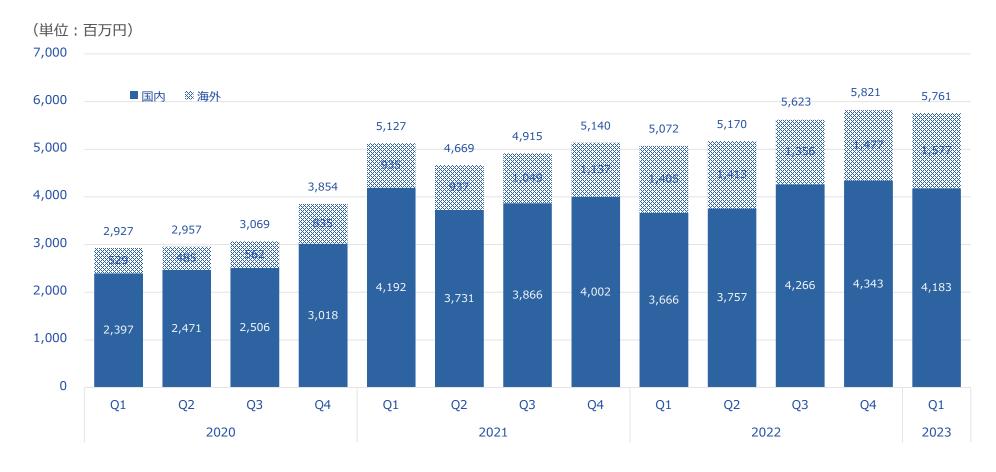
アパレル・雑貨のQ1の流通額は、YoY+16.0%の二桁成長 Q1はQoQで減少するのが季節的トレンドである中、+0.8%と健闘





((スーパーデリバリー流通額推移②

国内流通額は、例年通りの季節的要因を受けたものの減少幅は少なくQoQ△3.7% 海外流通額は、台湾の新型コロナウイルス感染者数の増加と中国のロックダウンの影響により アジア圏の成長率が一時的に低下 YoYは国内(+14.1%)、海外(+12.2%)とともに二桁成長





EC事業 **購入客数と客単価**

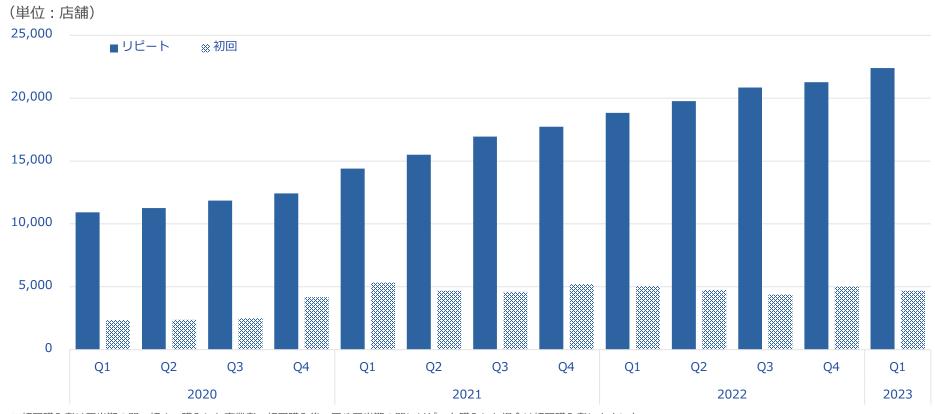
購入客数は順調な増加を継続 客単価は、季節的要因によりQoQでは減少したが、YoYでは微増





(参考) 購入客数内訳

前四半期の初回購入者がリピート購入者にしっかり転換されており、リピート購入者数は大きく増加 初回購入者も順調なトレンドを継続



※初回購入者は四半期の間で初めて購入した事業者。初回購入後、同じ四半期の間にリピート購入した場合は初回購入者にカウント。



EC事業 スーパーデリバリー売上高推移

流通額の増加によりシステム利用料売上高が増加 システム利用料の占有率は8割を突破

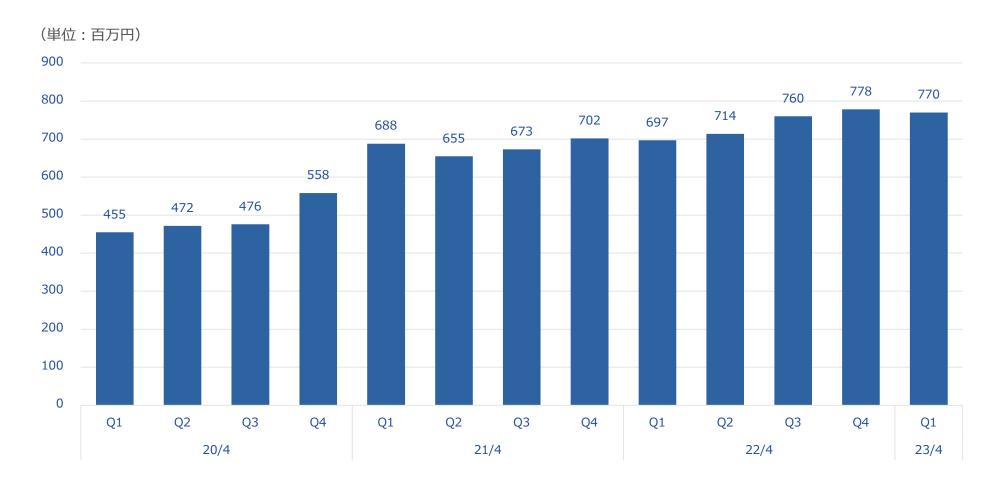


※システム利用料売上=GMVに対し一定割合を課金した手数料で出展企業から徴収 出展企業向け売上=出展基本料 会員小売店向け売上=月会費(国内小売店のみ徴収)



EC事業 四半期売上高推移

EC全体の四半期売上高は YoY +10.4%と二桁成長





四半期セグメント利益推移

増収と販管費の抑制により、セグメント利益はYoY + 24.0%





フィナンシャル事業 2023年4月期第1四半期サマリー

		前期比
セグメント売上高	566 百万円	+ 15.5%
セグメント利益	133 百万円	+ 14.6%

売上面

保証	T&G売掛保証とURIHOが統合。 保証残高は順調に増加し、 前期末比+6.4%	URIHÖ	+15.6%
決済	取扱高の増加が継続し YoY+21.5%	◇ Paid ※内部売上高を除いた比較	+22.4%
家賃 保証	保証残高は堅調な 積み上がりを継続	ra((oon RENT	+5.4%
			前年同期比

費用面

● 国内において倒産件数が増加しているが、当社 においては与信コントロールがうまく機能して おり、売上原価率は依然としてコロナ前よりも 低い水準で推移を継続。



● プロモーション強化による広告宣伝費の増加は YoY+51.4%。ただし、QoQ-36.3%と抑制。



セグメント利益はYoY+14.6%。 セグメント利益率は23.6%と20%超を維持



フィナンシャル事業 四半期売上高推移

セグメント間の取引を除外した売上高の成長率は QoQ+2.4%、YoYは+15.2%の二桁成長

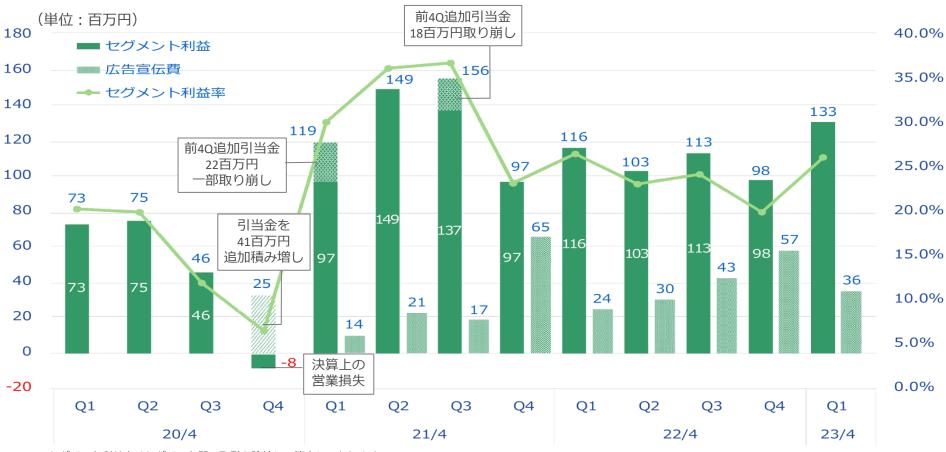






フィナンシャル事業 四半期セグメント利益推移

売上原価率と広告宣伝費の抑制により 四半期セグメント利益はQoQ+35.7%、YoY+14.6%





※セグメント利益率はセグメント間の取引を除外して算定しております。

フィナンシャル事業 売上原価率推移

売上原価率の変化はなく、コロナ前よりも低い水準を継続





フィナンシャル事業 Paid取扱高推移

外部取扱高は季節的要因の影響によりQoQでは横ばいも YoY+21.5%と順調な成長を継続





フィナンシャル事業 URIHO保証残高推移

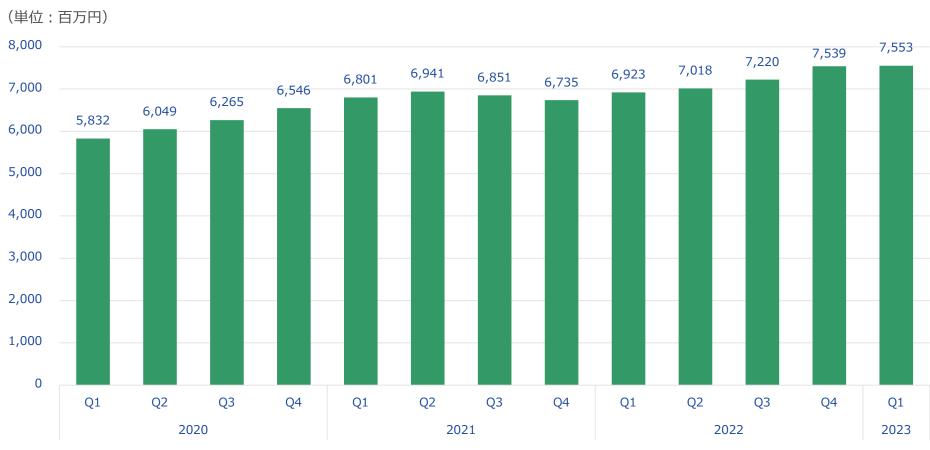
保証残高は順調な積み上がり、QoQ+6.3%、YoY+34.4%





フィナンシャル事業 家賃保証残高 (実質ベース) 推移

保証残高は堅調に推移



※保証残高÷保証期間×平均履行期間により算出した実質保証残高になります。そのため、決算短信及び有価証券報告書の残高と異なります。







四半期連結売上高推移

	2017				2018				2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
EC	392,285	393,391	409,310	416,992	411,858	422,816	429,159	431,392	425,150	425,472	446,243	466,189
フィナンシャル	177,263	182,555	189,081	198,432	200,454	204,346	218,443	227,608	243,873	257,229	364,526	351,713
合計	569,548	575,946	598,391	615,424	612,313	627,162	647,603	659,000	669,023	682,702	810,769	817,902

	2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
EC	455,214	472,263	476,792	558,665	688,464	655,525	673,588	702,650	697,548	714,229	760,062	778,836
フィナンシャル	362,899	377,467	386,461	387,906	395,763	409,649	423,019	416,060	436,585	446,940	464,588	491,192
合計	818,113	849,730	863,254	946,571	1,084,227	1,065,175	1,096,607	1,118,710	1,134,133	1,161,169	1,224,651	1,270,028

	2023
	1Q
EC	770,222
フィナンシャル	503,005
合計	1,273,227



四半期連結営業利益推移

	2017				2018				2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
EC	139,203	140,305	154,643	150,387	150,866	159,467	165,583	169,227	167,308	164,168	186,450	196,600
フィナンシャル	13,878	13,679	14,979	13,470	26,952	19,235	25,016	5,055	37,533	41,638	17,839	45,823
調整	-58,634	-48,480	-51,960	-60,661	-71,758	-72,556	-68,443	-70,957	-71,567	-68,219	-81,257	-87,592
合計	94,448	105,504	117,662	103,197	106,060	106,146	122,156	103,325	133,274	137,587	123,032	154,831

	2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
EC	186,422	201,232	203,865	267,602	333,001	283,910	258,746	273,772	266,643	252,695	325,573	333,849
フィナンシャル	73,979	75,589	46,154	-8,196	119,745	149,092	156,609	97,068	116,433	103,780	113,023	98,347
調整	-84,626	-87,353	-88,140	-80,443	-107,999	-115,067	-118,415	-134,296	-123,752	-111,402	-108,200	-140,909
合計	175,775	189,468	161,878	178,963	344,748	317,936	296,940	236,544	259,324	245,073	330,395	291,287

	2023
	1Q
EC	330,732
フィナンシャル	133,418
調整	-149,447
合計	314,702



((EC:スーパーデリバリー売上高推移

		2017				2018				2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
システム利用料売上	236,045	238,416	252,671	260,824	254,911	267,006	275,823	277,465	272,082	275,301	294,524	314,239	
会員小売店向け売上	61,362	62,442	61,854	61,986	61,538	61,342	61,050	61,002	61,170	60,712	60,888	61,070	
出展企業向け売上	94,181	91,496	93,793	92,986	94,273	93,141	90,785	91,183	89,903	87,312	88,610	88,415	
合計	391,589	392,354	408,319	415,797	410,722	421,490	427,659	429,651	423,155	423,326	444,023	463,724	
流通額	2,373,604	2,364,000	2,504,825	2,592,073	2,540,172	2,607,775	2,704,572	2,731,729	2,672,949	2,674,929	2,852,157	3,044,716	

		2020				202	21		2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
システム利用料売上	300,684	316,377	316,321	398,846	529,040	483,696	514,329	544,552	538,446	555,520	602,578	622,737
会員小売店向け売上	61,814	61,801	62,315	62,285	63,129	66,147	69,678	72,320	75,702	77,266	80,136	79,748
出展企業向け売上	90,066	91,213	95,092	94,418	92,962	102,087	85,787	81,772	79,199	77,072	72,793	71,656
合計	452,564	469,392	473,730	555,550	685,132	651,931	669,794	698,644	693,347	709,859	755,507	774,141
流通額	2,927,620	2,957,307	3,069,019	3,854,776	5,127,935	4,669,605	4,915,725	5,140,681	5,072,675	5,170,706	5,623,323	5,821,213

	2023
	1Q
システム利用料売上	617,971
会員小売店向け売上	77,118
出展企業向け売上	70,263
合計	765,353
流通額	5,761,178



(((EC:スーパーデリバリー購入者数と客単価

	2015					20:	16		2017				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
購入者数(店舗)	8,759	8,662	8,796	8,937	8,919	8,763	8,875	9,027	9,077	9,129	9,318	9,654	
客単価(円)	263,338	275,998	273,161	272,449	254,966	268,478	270,505	283,623	261,496	258,955	268,815	268,497	

	2018					20:	19		2020				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
購入者数(店舗)	9,829	10,210	10,497	11,046	11,616	11,846	12,068	12,814	13,249	13,621	14,358	16,586	
客単価(円)	258,436	255,413	257,651	247,304	230,109	225,808	236,340	237,608	220,969	217,113	213,749	232,411	

		202	21			20	22		2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
購入者数(店舗)	19,684	20,163	21,517	22,942	23,902	24,516	25,252	26,294	27,092
客単価(円)	260,512	231,592	228,457	224,072	212,228	210,912	222,688	221,389	212,652



《《 フィナンシャル: Paid取扱高推移

	2015					20	16		2017				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
内部取引	1,598,398	1,735,527	1,703,691	1,750,567	1,637,797	1,699,168	1,733,022	1,869,146	1,652,225	1,672,828	1,741,922	1,767,514	
外部取引	728,416	839,188	980,724	1,157,949	1,355,857	1,539,287	1,681,144	1,888,849	2,000,291	2,311,575	2,597,637	2,841,259	
合計	2,326,815	2,574,716	2,684,416	2,908,517	2,993,654	3,238,455	3,414,167	3,757,996	3,652,516	3,984,403	4,339,560	4,608,774	

		2018				20:	19		2020				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
内部取引	1,682,372	1,724,556	1,751,225	1,737,694	1,637,880	1,624,883	1,701,840	1,757,236	1,670,517	1,737,978	1,713,416	1,802,943	
外部取引	2,829,913	2,920,373	3,105,237	3,297,511	3,588,014	3,977,456	4,270,115	4,488,159	4,549,949	4,848,632	4,891,303	4,802,197	
合計	4,512,285	4,644,930	4,856,462	5,035,205	5,225,894	5,602,340	5,971,955	6,245,395	6,220,467	6,586,611	6,604,719	6,605,141	

		202	21			20	22		2023
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
内部取引	2,408,086	2,242,342	2,271,979	2,276,493	2,063,159	2,080,501	2,429,434	2,477,309	2,427,775
外部取引	4,894,563	5,186,738	5,501,080	5,862,713	5,847,946	6,021,341	6,623,795	7,107,072	7,104,559
合計	7,302,650	7,429,081	7,773,059	8,139,206	7,911,105	8,101,843	9,053,230	9,584,381	9,532,335



((フィナンシャル: URIHO保証残高推移

	2016					20:	17			20	18	
1Q		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
5,241	.,870	5,447,712	5,629,359	6,267,980	5,803,443	5,895,684	5,689,826	6,158,819	6,785,008	7,743,693	8,583,315	9,907,803

	2019					202	20		2021				
10	Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
10,31	1,384	11,403,717	12,193,958	13,609,462	14,073,465	15,093,308	16,011,597	18,029,768	18,403,599	18,835,716	20,865,449	23,076,794	

	20	22		2023
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
24,328,307	26,046,103	27,656,974	30,755,223	32,705,238



((EC事業 フィナンシャル:家賃保証残高推移

(単位:千円)

	2016				20	17		2018					
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
117,323	170,098	221,702	267,139	340,143	402,415	458,777	594,519	737,035	857,787	979,309	1,113,485		

	2019			2020			2021				
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1,224	871 1,252,8	70 5,435,686	5,622,052	5,832,274	6,049,021	6,265,811	6,546,084	6,801,684	6,941,143	6,851,240	6,735,393

	2023			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
6,923,983	7,018,401	7,220,875	7,539,978	7,553,101

※保証残高÷保証期間×平均履行期間により算出した実質保証残高になります。そのため、決算短信及び有価証券報告書の残高と異なります。







中期経営計画抜粋

1. 市場のさらなる拡大

DXの浸透により卸EC化率(5%)や、売掛保証利用率(1%)が上昇し、 今後**数倍規模への市場成長**を予測

2. 市場内シェアの拡大

顧客数の拡大に加え、LTV(顧客単価&リピート率)の向上で CAGR+17%の売上高成長を計画

3. 利益率の向上

成長フェーズである各事業へ投資を増やしながらも

営業利益率を30%へ向上(+6.5pt) させ、**営業利益はCAGR+27%の成長**を計画



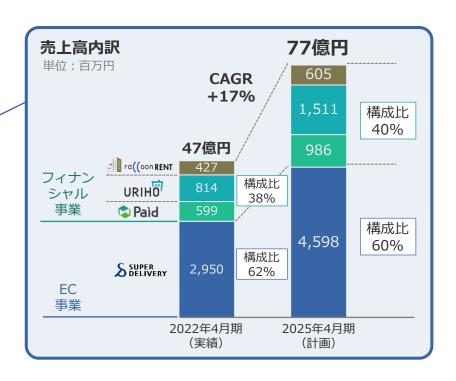
主要指標の中期経営目標

すべての事業の売上成長。さらに利益率の上昇で営業利益成長はCAGR+27%

- 高い限界利益率(70%超)を背景に、成長への投資を行いつつ営業利益率の向上を目指す
- 積極的な株主還元を行い、ROEは25%を目標とする

	2022年4月期 (実績)	2025年4月期 (計画)	成長率
売上高	4,789百万 ➡	7,700百万	CAGR +17%
営業利益	1,126百万 ➡	2,310百万	CAGR +27%
営業 利益率	23.5%	30.0%	+6.5pt
ROE	6.7%*1 (特損除外 13.6%)	25.0%	+18.3pt (+11.4pt)

^{*1} 投資有価証券やのれんの減損があり一時的にROEが低下



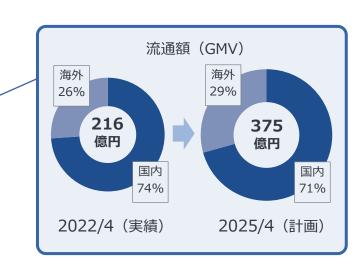


EC事業 スーパーデリバリー: 主なKPI

GMVの成長目標はCAGR+20%

- ・ 広告投資の継続や品揃えの強化で、購入客数の成長を維持
- 販促等による安さの実現で、購入客単価の向上を目指す
- GMVは海外の成長率が高く、徐々にSD内の海外比率が拡大

	2022/4 (実績)		2025/4 (計画)	CAGR
流通額 (GMV)	21,687百万円	→	37,500百万円	+20%
国内	16,033百万円	→	26,500百万円	+19%
海外	5,654百万円	→	11,000百万円	+25%
購入客数	26,294店舗 (Q4)	→	40,000店舗 (Q4)	+15%
購入客単価	221,389円 ^(Q4)	→	257,000 円 (Q4)	+5%





取扱高の成長を元に、売上高でCAGR+18%の成長を目指す

• 加盟企業単価の高い特定業態の獲得を強化し取扱高・売上高を向上

	2022年4月期 (実績)		2025年4月期 (計画)	CAGR
取扱高 (加盟企業数 × 加盟企業単価)	25,600百万円	→	42,128百万円	+18%
売上高	598百万円	→	985百万円	+18%

^{*} グループ内取引を除外



フィナンシャル事業 URIHO:主なKPI

保証残高CAGR+32%、売上高CAGR+23%の成長を目指す

• 契約社数を増やすことにより保証残高を増加させ、売上高成長に繋げる

	2022年4月期 (実績)		2025年4月期 (計画)	CAGR
保証残高 (契約社数 × 保証額)	30,755百万円	→	70,000百万円	+32%
売上高	814百万円	→	1,511百万円	+23%







ESG情報: サスティナビリティ基本方針

経営理念

企業活動を効率化し便利にする

ビジネスインフラとして幅広い事業領域の取引をサポート

基本方針

事業を通じた社会課題の解決

事業運営におけるリスクの適切な管理 ・最小化および 事業機会の最大化を図り、企業価値の向上を目指してまいります また、ステークホルダーの皆様と共に 持続可能な地球環境や社会の実現に貢献してまいります







































ESG情報:5つの重点テーマ

今後マテリアリティ(重要課題)を特定し 具体的なアクション及びKPI策定を実施

環境 **E**nvironment 社会 Social

ガバナンス

事業を通じた 社会課題の解決

- 気候変動への対応
- ・公平・公正な取引環境
- 地方創生
- 持続可能な消費形態



働きやすい環境 の整備

- 多様な働き方
- 労働安全衛生の確保
- 従業員の人権の尊重



地域社会や 業界への貢献

- ボランティア活動
- ・ 業界団体への加盟



責任ある事業運営

- コンプライアンス
- ・コーポレートガバナンス
- リスクマネジメント
- 信頼ある取引基盤の確保



ダイバーシティの推進

- 新卒・中途・外国籍比率
- 産休·育休取得率
- ・ 管理職の男女比率 等





免責事項

- 当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の 判断に基づき作成されております。
- 様々な環境の変化により実際の判断や結果が異なる可能性があります。

